

第3学年 特別の教科 道徳 学習指導案

日 時：令和元年11月12日（火）5校時
学 級：3年A組（男子10名，女子6名，計16名）
授業者：小 原 翔 太

1. 主題名 礼儀 【B-（7）】

2. 教材名 言葉おしめ（出典：新しい道徳3 出版：東京書籍）

3. 主題設定の理由

（1）価値について

本授業は、中学校の学習指導要領における内容項目 B-（7）「礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。」に基づいて指導するものである。

礼儀とは相手の人格を尊重し、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことである。言い換えると、礼儀とは心が形になって表れることであり、礼儀正しい行為をすることで自分も相手も気持ちよく過ごせるようになる。礼儀は挨拶や言葉遣い、所作や動作などの作法で表現されるが、それは人間関係を豊かにして円滑な社会生活を営むために作り出された文化の一つである。現代社会においては、相手を思いやる気持ちが薄れ、それに伴って古くから伝えられてきた言葉や振る舞いも忘れられつつある。生徒自身に、人との関わりにおいてどのような振る舞いが好ましいのかを考えさせ、その振る舞いの奥にある考え方に気付かせたい。

（2）生徒について

学級の生徒は全体的に明るく、素直である。部活動や体育祭・文化祭などの行事でリーダーとして全校をまとめ、最上級生として自信をつけてきた。また、進路学習を通して、高校への進学や自らの将来について考える中で礼儀の意義についてある程度は理解しているものの、行動に現れないこともあり、十分に習慣化しているとは言えない。特に、学級の課題としてあいさつや反応ができていないことについて、生徒たちは自覚をしている。したがって、気持ちよく社会生活を営む上で欠かせない挨拶等の礼儀作法に込められた相手を尊重する気持ちや真心は、態度で示すことができるということについて体験を通して考えさせたい。

（3）教材について

見知らぬ人とのさりげない触れ合いの中で交わされるあいさつの言葉によって、人の心やその場の雰囲気が変わってくる。3つのエピソードから、時と場に応じた適切な言葉遣いや行動について考えさせることができる教材である。

4. 研究主題との関連

本校の研究主題を実現するために、問題解決的な学習の学習過程を取り入れた授業を通して、礼儀について自ら考え、時と場に応じた適切な言動の大切さに迫らせていきたい。導入部分において、アンケート結果を用いることで、教材に対する考えと道徳的価値を含むテーマを結び付ける。展開前段の「発見」においては、各場面を整理し、道徳的価値に関わって正しいかどうか考えることで、道徳的な問題を把握する。展開中段の「構想」では、発見場面で見つけた道徳的な問題について解決策を考える。このとき、単純にやりとりのみを考えるのではなく、「言葉おしめ」をする背景について考えさせることで、礼儀の必要性に気付かせる。その後、全体で意見交換することで自分とは異なる意見に触れ、考えを広げていくようにする。展開後段の「深化」では、教材とは異なる、より日常的な場面を設定し、その場面における解決策についてグループや学級全体で考察する。さらに、役割演技を通して、道徳的実践意欲を高める。さらに、「振り返り」でもう一度自分自身を見つめ直すことで、日常的な道徳的実践態度へと結び付けていきたい。

5. 他の教育活動との関連

- ・国語科『場面に応じて話そう』
- ・美術科『人の形に込めたもの』

6. 本時について

(1) ねらい

作者が経験した、投げかける言葉と受け止める言葉のやりとりの場面を通して、社会生活の中で礼儀の意義や役割を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。

(2) 本時の指導の構想

事前にアンケート調査を行う。教材の各場面において、「その場面を自分が見たとき、どのように考えるか」、についてアンケートを行う。アンケート結果は導入場面や発見場面で活用する。当日の朝読書の時間を用いて、個人で黙読し、教材の内容について確認する。

| |
|---|
| <p><動機付け> 導入部分において、アンケート結果を用いることで、教材における各場面に対する自分の考えを表出させ、道徳的価値を含むテーマに結び付ける。</p> |
| <p><発見> 展開前段の「発見」においては、各場面における「礼儀正しい対応」や「言葉おしみの対応」を整理し、作者が考える「言葉おしみ」という状況が広がり、礼儀が軽視されているという道徳的な問題を把握する。</p> |
| <p><構想> 展開中段の「構想」では、発見場面で見つけた道徳的な問題について、電車での場面を例に解決策を考える。このとき、2人のやりとりで、「なぜ、お互いに言葉おしみをしてしまったのか」について、理由を考える。このことを通して、やりとりの背景にある気持ちを考え、「言葉おしみ」をすることが、お互いに嫌な思いにつながってしまうと気付かせる。さらに、礼儀正しいやりとりについて考える。</p> |
| <p><深化> 展開後段の「深化」では、日常的な2つの場面における気持ちの良いやりとりについて、グループで考える。「言葉おしみ」を意識させ、自分も相手も嫌な気持ちにならずに、円滑なやりとりとなるように注意する。そして、役割演技を通して、学級で更に考えを広げたり、深めたりする。</p> |
| <p><振り返り> ①評価の視点 他者との関わりの中で、あいさつや時と場に応じた適切な言葉の大切さに気付き、今までの自分の言動について振り返り、適切な言動を考えようとしている。 ②生徒の記述例 ・TPOに合った言動は自分も相手も気持ちよく生活するためであるとわかった。今日の話合いを通して、動作や会話のキャッチボールが連鎖していくことが大切であるとわかった。 ・今までなんとなく受け答えをしていたが、今日、実際に班で考えて演技してみることで、礼儀の裏側にある相手を尊重する気持ちがわかりました。その気持ちを大切にして、これから受け答えをしていきたいと思いました。</p> |

(3) 本時の展開

| | 学習活動と主な発問 (○) | 予想される生徒の反応 (・) | 指導上の留意点 |
|----------------------------------|--|--|--|
| 導入 5分 | <p><①動機付け> 1 事前アンケートを確認する。 ○次の①～③の状況を見たとき、あなたはどのように思いますか。 ①朝の忙しい駅で、自動改札機に手間取っていた前のご婦人に「私、これに慣れていないもので、もたもたしてしまってすみません。」と声をかけられた男性が「どういたしまして」と言った。 ②トイレの順番待ちで自分の番が来たとき、前のご婦人が次の順番の人に「お先に」と会釈をした。 ③病院の待合室で名前を呼ばれたとき、返事をしない。看護師さんは、何度も名前を呼んでいる。</p> | <p>① ・すごいな。自分ならできない。 ・どういたしまして、と言ってみたい。 ② ・言われたことないな。 ・大人な対応だな。 ③ ・なんで返事しないのだろう。 ・返事くらいしたらいいのに。 ・看護師さんが困るだろうに。</p> | <p>・事前アンケートを確認し、各場面を見たときの思いや①～③の違いについて、共有させる。 ・各場面はTPOに合った言動なのかについて考える。</p> |

| | | | |
|-----------------------------------|---|--|--|
| | <p>○みなさんはTPOにあった言動ができていますか。</p> <p>2. テーマを確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自信がない。 ・返事ができてない。 ・声を出さなければならない場面で、黙ってしまうことがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちはTPOにあった言動ができていないかについて考え、テーマにつなげていきたい。 |
| <p>どんな思いがTPOに合った言動につながるのだろうか。</p> | | | |
| <p>展開</p> <p>39分</p> | <p><②発見></p> <p>3 教材を読み、各場面での雰囲気の変化について考える。</p> <p>○場面ごとに雰囲気はどのように変化しているだろうか。また、その雰囲気を変えた言葉は、どんな思いで発した言葉なのだろうか。</p> <p>4 場面1～3から「言葉おしみ」がなぜ問題なのか考える。</p> <p>○「言葉おしみ」が広がることに、どんな問題があるのだろうか。</p> <p><③構想></p> <p>5 電車の場面のやりとりについて、なぜ私と六十がらみの男性が言葉おしみをしたのか考える。また、言葉おしみにならない行動についても考える。</p> <p>(個人→全体)</p> <p>○なぜ、私と六十がらみの男性は言葉おしみをしてしまったのだろうか。また、どんなやりとりがふさわしいだろうか。</p> <p><④深化></p> <p>6 日常でのやりとりについてグループで話し合い、役割演技を発表し、学級全体で考察する。(グループ→全体)</p> <p>①高校生になり、ユニバースで中学校時代の学年主任である山田先生を見かけ、目が合ったとき。(1・2班)</p> | <p>場面1：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気が良くなっている。 ・「どういたしまして」は、男性の気遣いで出ていると思う。 ・女性が嫌な気持ちにならないように発した言葉だと思う。 <p>場面2：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気が良くなっている。 ・「お先に」は、待っている他の人への心配りだと思う。 <p>場面3：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気が悪くなっている。 ・返事をしない理由は、たくさんの人の前で、声を出すのが恥ずかしいからだと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつが完結しないこと。 ・会話のキャッチボールができないこと。 ・嫌な思いをしてしまうこと。 <p><私(席をゆずろうと立ったとき)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを見て、思い込んでしまった。 ・何と云えばいいか、わからなかった。 <p><六十がらみの男性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆずられたのが嫌で、話したくなかった。 ・断り方がわからなかった。 <p><ふさわしいやりとり></p> <p>私：お席をどうぞどうぞ座ってください。お席をお譲りします</p> <p>男性：いえ、大丈夫です。ありがとう。いえ、すぐ降りますので、声をかけてくれて、ありがとう。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山田先生、お久しぶりです。先生はお元気ですか？」(理由) 久しぶりに先生に会ったので、体調から聞いて話を広げようと思ったから。 ・「山田先生、こんにちは。〇〇高校に進学した〇〇です。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分事として考えることができるように、アンケート結果を活用する。 ・場面1・2についても、「どういたしまして」などの返答がなかった時について考えることで、問題点に迫らせる。 ・言葉おしみが起きる原因について考える。その言葉おしみが自分も相手も嫌な思いをすることにつながると気付かせる。 ・言葉おしみをしてしまう2人に共感する生徒が多いと考えられる。その考えを引き出し、より自分のこととして捉えさせたい。 ・グループごとに議論することで多様な意見を出し合い、考えを深めさせる。 ・その対応をした理由についても発表させる。 |

| | | | |
|------|---|---|---|
| | ②自分が注文した大きくて重い荷物が宅配便で届き、玄関で受け取る時。(3・4班) | (理由) あいさつや自己紹介から昔の自分のことを思い出してもらえたらと思ったから。 ② ・「いつもありがとうございます。ここまでで大丈夫です。また、よろしくをお願いします。」 (理由) 玄関まで運んでもらったので、感謝の気持ちを伝えたかったから。 | ・2つのパターンで役割演技を行うことで、やりとりについて客観的に考えさせたい。 |
| 終末6分 | <⑤振り返り> 7. 課題に戻り、振り返りを行う。 8. 振り返りを共有する。 | ・TPOに合った言動は自分も相手も気持ちよく生活するためであるとわかった。今日の話合いを通して、動作や会話のキャッチボールが連鎖していくことが大切であるとわかった。 ・今までなんとなく受け答えをしていたが、今日、実際に班で考えて演技してみることで、礼儀の裏側にある相手を尊重する気持ちがわかりました。その気持ちを大切に、これから受け答えをしていきたいと思いました。 | ・本時の課題に戻り、礼儀の役割についてわかったことをまとめ、これからの自分の生活に生かせるようにする。 |

(4) 板書計画

①ユニバースで山田先生にばったり。

2班


1班

②大きくて重い荷物を宅配便で受け取る時。

4班

3班

次の①と②の場面での実際のやりとりを考えよう。




(電車での場面)

なぜ、私と六十がらみの男性は言葉おしみをしてしまったのだろうか。

(私)

- ・思い込んでしまった。
- ・何と言えはいいか、わからなかった。
- ・(六十がらみの男性) ゆずられたのが嫌で、話したくなかった。
- ・断り方がわからなかった。

どんな思いがTPOに合った言動につながるのだろうか。




(場面1)

・雰囲気が良くなっている。

「どういたしまして」
気遣い
あまりお気になさらず

何が問題
・嫌な思いになる。




(場面3)

「無言」
たくさんの人の前で話すのが恥ずかしい

(場面2)

・雰囲気が良くなっている。



「お先に」
待っている人への心配り

第23回 道徳 「言葉おしめ」

番 名前

テーマ

どんな思いがTPOに合った言動につながるのだろうか。

◎なぜ、私と六十がらみの男性は言葉おしめをしてしまったのだろうか。また、どんなやりとりがふさわしいだろうか。

| | |
|---|---|
| <p>私(席をゆずろうと立ったとき) 言葉おしめをした理由</p> | <p>六十がらみの男性 言葉おしめをした理由</p> |
| | |
| <p>ふさわしいやりとり</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 60px; width: 80%; margin-bottom: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 60px; width: 80%;"></div> | <p>ふさわしいやりとり</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 60px; width: 80%; margin-bottom: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 60px; width: 80%;"></div> |

今日のアンケート

名前 _____

1. 次の①～③の場面や状況を見たときに、あなたはごどう思いますか？

① 朝の忙しい場面で、自動改札機に手間取っていた前のご婦人に「私、これに慣れていないもので、もたもたしてしまつてすみません。」と声をかけられた男性が「どういたしまして、ごゆっくり」と返答している場面。




「私、これに慣れていないもので、もたもたしてしまつてすみません。」

「どういたしまして、ごゆっくり」

(ごどう思うか)


② トイレの順番待ちで自分の番が来たとき、前のご婦人が次の順番の人に「お先に。」と会釈をしている状況。



「お先に。」

(ごどう思うか)

③ 病院の待合室で名前を呼ばれたとき、返事をしない。看護師さんは、何度も名前を呼んでいる。



○○さん

(ごどう思うか)

2. あなたは、TPO にあった言動ができていますか？

※TPOとは…Time(時), Place(場所), Occasion(場合)

(十分にできている できている できていない 全然できていない)

(理由)